

令和 3 年度 上 半期 指定管理者管理運営状況シート

●施設の概要

施設名	岐阜市健康ふれあい農園	所管課	農林課
所在地	岐阜市安食字竹田799番地1		
指定管理者名	ぎふ農業協同組合		
指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日		
選定方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募		
料金制	<input checked="" type="checkbox"/> 使用料 <input type="checkbox"/> 利用料金 <input type="checkbox"/> 料金徴収なし		
指定管理委託料(年額)	8,999,629円		
施設の設置目的	農作業体験を通して、自らの健康増進、家族とのふれあい及び農業に関する理解を深める。		
施設概要	貸付農地、利用農地、附帯施設(管理事務所、農機具倉庫、物置、便所、堆肥置場、洗い場、園路、休養施設、駐車場、農機具類及び農具類)		

●利用状況

		R03 上半期	R02 下半期	R02 上半期	R01 下半期	R01 上半期
貸付農地利用区画数		127	133	131	138	135
利用状況	一般用区画A(30㎡) 利用率	58.8%	61.0%	61.1%	60.3%	58.0%
	一般用区画B(40㎡) 利用率	35.9%	39.0%	37.5%	43.8%	43.8%
	一般用区画C(50㎡) 利用率	34.4%	34.4%	32.8%	36.1%	36.1%
	身体障害者用区画E(2㎡) 利用率	40.0%	46.6%	46.6%	60.0%	60.0%
	収穫体験利用組数(組)	433	0	130	875	581
	収穫体験利用人数(人)	1,155	0	239	2,504	1,668

●業務の履行確認

区分	確認事項	履行状況
利用者サービス	①供用日・供用時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応(雑草、有害鳥獣等) ⑤栽培指導 ⑥耕耘機の無料貸出し	①業務日誌より、午前8時出勤、午後5時退勤の確認 ②申請受付1名、農園管理3名(交代制)配置 ③JAのHP・JAぎふ広報誌に掲載 ④随時除草作業実施 ⑤月1～2回の巡回指導、年2回の栽培講習会実施 ⑥上半期(4月～9月): 61件
自主事業・提案事業	①貸付区画利用者からの依頼による有料耕起作業	①1,200円/10㎡、1,400円/20㎡、1,600円/30㎡ 上半期(4月～9月): 2件
施設管理	①日常・定期清掃業務 ②警備業務 ③受水槽、浄化槽点検 ④利用農地栽培管理 ⑤作物残渣処理 ⑥貸付農地の適正管理指導 ⑦除草作業 ⑧新型コロナウイルス感染予防対策	①日常清掃(トイレ、管理事務所、倉庫/毎日)実施 ②定期巡回(午前9時頃)実施 ③委託業者による点検を実施(年1回) ④作物11種の栽培管理、気象変動に対応した作業変更の実施 ⑤水分排除後、利用農地輪作予定区画にすき込み、土づくりに活用(チップパーにより残渣を粉砕) ⑥未利用貸付区画の緑肥栽培実施、巡回時に随時管理指導実施 ⑦側溝のり面、駐車場等、随時除草作業確認 ⑧・チェックシートの活用(入口等での手指消毒剤の補充。貸出農機、トイレ、テーブルやドアノブなど不特定多数が触れる場所の清掃・消毒。従業員の健康チェック) ・従業員のマスク着用 ・対面場面の遮断措置
施設修繕	指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備	農業器具等の修繕を自己の営農組織に依頼することで、経費を縮減した。
危機管理・法令遵守	①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守	①個人情報保護方針を作成し、適正に取り扱っている。 ②緊急時の対応マニュアルを整備している。 ③関係法令を遵守している。

●利用者評価

利用者アンケートの実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・収穫体験年間体験コース会員94人を対象に実施。回答72人(回答率76.6%) ・アンケート質問項目:「申し込みは初めてか」「申し込みは何で知ったか」「申し込まれた理由」「来園人数・構成」「管理人の対応について」「作物の出来具合について」「作物の種類について」「収穫体験以外のイベント実施について」「貸付区画があるのをご存じか」「貸付区画に興味があるか」「ご意見、ご感想」
利用者アンケートの実施結果	<ul style="list-style-type: none"> ・回収総数 72枚(回収率 76.6%) ・「申し込みは初めてか」初めて:29.2% 2回以上:70.8% 未回答:0% ・「申し込みは何で知ったか」広報ぎふ:25人 ふれあいネット(JAぎふ広報誌):1人 チラシ:0人 岐阜市のHP:2人 岐阜市のHP:2人 JAぎふのHP:1人 家族、友人知人からの紹介:8人 その他:1人 ・「申し込まれた理由」食育:15人 新鮮な農作物を収穫できる:58人 農作業を体験できる:42人 自然とふれあう:31人 その他:10人 ・「来園人数・構成」1人:4.2%、2人:33.3%、3人:19.4%、4人:34.7%、5人:6.9%、6人:0%、7人以上:1.5%、未回答:0% 配偶者:51組 未就学児:25組 小学生:38組 中学生:6組 高校生以上:8組 その他:12組 未回答:0組 ・「管理人の対応について」大変満足:29.2% 満足:69.4% やや不満:0% 大変不満:0% 未回答1.4% ・「作物の出来具合について」大変満足:35.3% 満足:34.4% やや不満:22.1% 大変不満:8.2% ・「作物の種類について」大変満足32.9% 満足60.0% やや不満7.1% 大変不満0.0% 未回答0% ・「収穫体験以外のイベント実施について」希望する47.8% 希望しない52.2% ・「貸付区画があるのをご存じか」知っている:98.6% 知らない:1.4% ・「貸付区画に興味はあるか」ある:28.6% ない:71.4% ・主な意見・感想:毎回楽しみにしている。新鮮な野菜を食べれてうれしい。係員への感謝。等
利用者からの要望・苦情と対処・改善	<ul style="list-style-type: none"> ・一輪車の使い方・マナーが悪い人が多い。 ⇒使い方の看板を作成、また管理人からの声かけ・指導を行う。 ・トイレ内の頑固な汚れがある。 ⇒管理人へ伝え、薬剤を購入し、掃除を行った。 ・貸付区画を利用している方の区画で雑草が伸びて隣の区画の方に迷惑になった。 ⇒管理人が対応し除草を行った。

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
公平性 透明性	住民の平等利用が確保されること	平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	利用申込みが区画数を超えた場合の公平な利用者決定方法を講じるか。	A	A	A
		情報公開、広報の方策	利用者募集PRを実施しているか。	A	A	A
		その他指定管理者の提案によるもの	提案項目が効率的に実施されているか。	-	-	-
	区分評価					A
効果性	事業計画書の内容が、対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮するものであること	既存業務の改善、工夫又は新規の魅力的な提案の有無、内容	気象状況に応じた栽培方法を選択しているか。	A	A	A
		利用者ニーズ、苦情などの把握方法及び対応方策など	利用者からの意見を聴取しているか。	A	A	A
		利用者に対するサービス向上の方策(窓口対応、プロモーション、設備の整備など)	利用者からの意見について、検討・対応策を講じているか。	A	A	A
		利用促進、利用者増の方策	栽培指導を実施しているか。	A	A	A
		サービスの質を確保するための体制、モニタリングなど	質確保のために体制を整備しているか。	A	A	A
		施設の効用(設置目的)を最大限発揮できるスタッフの配置	専門の栽培指導員を配置しているか。	A	A	A
		その他指定管理者の提案によるもの	提案項目が効率的に実施されているか。	-	-	-
区分評価					A	

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
効率性	事業計画書の内容が、管理経費の縮減が図られるものであること	指定管理経費の妥当性(サービスとコストのバランスなど)	利用者へのサービス低下を招くことなく、コスト縮減に努めているか。	A	A	A
		収支計画の妥当性	計画に基づき、遂行されているか。	A	A	A
		管理経費縮減の具体的方策	具体的な経費の削減の方策を掲げ、努力しているか。	A	A	A
		スタッフ配置の妥当性(無理はないか)	職員の担当、勤務時間を工夫し、より効率よく業務が出来るよう配置しているか。	A	A	A
		利用料金を徴収する施設の場合、収入の増加を図るための方策	利用者増につながるイベントを実施しているか。	A	A	A
		その他指定管理者の提案によるもの	提案項目が効率的に実施されているか。	-	-	-
		区分評価				
安定性 安全性	事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	経営基盤の安定性	経営は安定しているか。	A	A	A
		組織及びスタッフ(採用予定者も含む)の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識等	作物栽培経験、農業機械操作技術を有する職員を配置しているか。	A	A	A
		スタッフ(採用予定者も含む)の管理、監督体制	スタッフ間の連携がとれた体制が整備されているか。	A	A	A
		スタッフ(採用予定者も含む)の人材育成の方策	人材育成の方策は策定されているか。	A	A	A
		リスクへの対応方策(防止策、非常時の対応マニュアルなど)	自然災害、防犯、事故等の緊急時における危機管理のための方策が確立されているか。	A	A	A
		リスクへの対応能力(資金力、損害賠償能力など)	資金力は十分備わっているか。	A	A	A
		その他指定管理者の提案によるもの	提案項目が効率的に実施されているか。	-	-	-
区分評価					A	
貢献性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域(以下「地元」という。)の振興、活性化などに貢献できるものであること	地元の法人その他の団体の育成(一部業務の再委託先)	地元法人、団体の育成に貢献しているか。	A	A	A
		地元の住民、高齢者、障害者等の雇用	地元農家の雇用に貢献しているか。	A	A	A
		地元での資材等の調達	地元で資材を調達しているか。	A	A	A
		地元での社会活動等への参加	地元からの要請があった場合に応じられるか。	A	A	A
		その他地元への貢献に関すること	地元自治会等との連絡協力体制が整っているか。	A	A	A
		その他指定管理者の提案によるもの	提案項目が効率的に実施されているか。	-	-	-
		区分評価				

●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

<p>今期の取組みに対する評価</p>	<p>・JAぎふ機関紙において、施設の紹介や募集記事等を記載した他、JAぎふ支店や営農経済センター・グリーンセンター等に紹介パンフレットを配布するなど、利用者拡大に努めた。</p>
<p>前回までの意見を踏まえた取組み状況</p>	<p>・新型コロナウイルスの影響で収穫体験の時間を区切って人数制限を行うことを検討したが、ほとんどの方が9時頃に来られるので対応が難しい。 ・収穫体験の案内に少人数で参加していただく文言を入れ、コロナ対策をした。</p>
<p>今後の取組み</p>	<p>気候によって作物の育ちが変わってくるので、気象情報を見て、こまめに作物の生育状況を確認する。新しい作物の栽培に取り組む。</p>

●所管課の意見

<p>・貸付区画の利用者が年々減ってきているが、施設の紹介や募集記事等を機関紙に掲載したり、各所で紹介パンフレットを配布するなど、利用者拡大に努めていることは評価したい。利用者が高齢化していることもあり、今後も利用者減の傾向は続くと考えられるが、引き続きPR活動に努めてもらいたい。 ・今年度再開した収穫体験では、新型コロナウイルス感染防止のため、案内文にその旨追加し、当日の体験時も利用者の安全に配慮して対策を行っていたことを評価したい。アンケート結果から、作物の出来具合に満足していることがわかる。天候に左右される部分大きいですが、引き続き利用者満足度が向上するよう管理をお願いしたい。</p>

●指定管理者評価委員会の意見

<p>・コロナ禍において、概ねよく管理運営されており、特に収穫体験を再開し、農業体験を通じて自然とふれあう意識を醸成している点を評価する。 ・貸付区画の利用率が減少し続けている。引き続き利用率向上に向けた対策を検討し、実施していくと良い。 ・農園利用のPRや有害鳥獣被害への対策は概ね実施できている。利用者にはリピーターが多いことを考慮して、利用者が意見を寄せやすい仕組みを検討できると良い。</p>
--